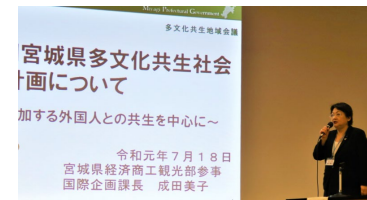


多文化共生地域会議（宮城県）の開催（結果概要）

日時：令和元年7月18日（木）9:30-12:10 場所：宮城県庁（仙台市） 参加者数：76名（県内市町村、県庁等）

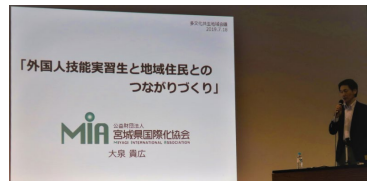
報告（1）第3期宮城県多文化共生社会推進計画について 宮城県経済商工観光部参事 成田 美子 氏

県内在住外国人の推移・動向、多文化共生社会の形成の推進に関する条例、第3期宮城県多文化共生推進計画が目指す考え方と具体的施策を説明



報告（2）総務省における多文化共生推進施策の取組について 総務省自治行政局国際室

総務省がこれまで取り組んできた多文化共生推進に関する施策のうち多文化共生の推進に関する研究会報告書2018、多文化共生事例集、災害時外国人支援情報コーディネーターを養成するための研修等を紹介



報告（3）県内の取組状況等の発表

○（公財）宮城県国際化協会 総括マネージャー 大泉 貴広 氏

「外国人技能実習生と地域住民とのつながりづくり」

県内の技能実習生の現状、地域交流サポーターの育成、国際交流イベントや市民向けセミナーの開催など技能実習生と地域社会とのつながりを作る機会の提供に向けた取組を紹介

○外国人の子ども・サポートの会 代表 田所 希衣子 氏

「外国人児童生徒への学習支援の取組」

公共のオープンスペースの活用、サポーターの得意な分野を生かすコーディネーターの役割など外国人の子ども・サポートの会の活動内容、実際のN小学校での活動事例を紹介

○（公財）仙台観光国際協会 国際化推進課長 須藤 伸子 氏

「行政や自治会との協働」

外国人住民の増加により近年顕著になってきた課題、行政・地域・学校が連携して行う多言語資料の作成、職員研修、自治会向け多文化共生講座など課題解決に向けた実際の具体的事例を紹介。

基調講演 「多文化共生社会の実現に向けて」

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 准教授 高橋 美能 氏

地域における多文化共生の推進の必要性、外国人住民を取り巻く課題と日本の多文化共生政策の具体的な課題、多文化共生の定義、国際共修授業など東北大学で取り組む多文化共生について解説